

2024年4月15日発行

K



神奈川県理学療法士会

(公社)神奈川県理学療法士会ニュース

The Kanagawa  
Physical Therapy Association  
News

P

4  
2024  
April  
No.299

http://www.pt-kanagawa.or.jp

A

Kanagawa Physical Therapy Association

○発行 | 神奈川県理学療法士会 ○代表 | 内田 賢一 ○編集 | 武田 正一

○発行所 | 〒220-0003 横浜市西区楠町4-12 アーリアア20 101号 Tel.045-326-3225/Fax.045-326-3226 E-mail:jimukyoku@pt-kanagawa.or.jp

○会員数

[2024.3.1現在]

5,757名

## Contents

P1▶巻頭言 P3▶会長報告 P4▶災害対策部報告 P6▶ライフサポート部報告  
P7▶生涯学習部報告 P9▶重要なお知らせ P10▶研修会・講習会 P12▶会長行動報告/information  
P14▶原稿送付先/編集後記

## 巻頭言



## 50年間の理学療法士人生と『釣り師』との関係

長澤 弘

神奈川県理学療法士会（以下士会）ニュースがWeb化された最初の「巻頭言」を担当させていただき、栄誉を得て、士会活動の絶え間ない努力と発展に対し、改めて敬意を表するものである。

1973年から50年間の理学療法士人生の中で、士会役員としての経験は私自身の成長にも大いに役立つものであった。1978年に士会理事（書記）を拝命し、1982年からは広報担当理事として士会ニュース編集に携わった。ニュースに掲載する原稿集めに苦勞をしていた時期だったと思うが、北里大学病院の理学療法士として、上司であった松瀬先生に同行し小田原の海釣りに出かけた。テトラポッドの上から初めて釣り上げたメバルを手にした時の感動は、今でも忘れられない記憶として鮮明に残っている。この『初心者の釣り人』が、種々の魚を追い求め、時には大漁の釣果、時には獲物無しのボウズ、また溪流釣りでは尾瀬や飛騨の山奥でのイワナやヤマメを、東京湾のドラゴン級タチウオ、銚子沖の座布団ヒラメ、下田の海の真鯛等々、現在は自称『中物狙いの釣り師』にまで成長できたと感じる。

理学療法の知識や技術を磨きあげていく過程は、釣りが上手くなっていった経過によく似て

いると思う。北里大学病院では、整形外科医以外の医師は理学療法士が何をできるのかをよく知らない時代であった。理学療法士の各研修会はもとより、第1回呼吸療法士講習会など、種々の研修会・講習会に積極的に参加した。それらの根拠を武器として、呼吸器内科やICU、NICU、などの医局に出向き、理学療法の有効性を売り込み、処方をしていただき実績を重ね、徐々に理学療法の有用性を院内に広めていった。この約15年間の理学療法士活動は、釣りであれば、魚ごとの習性を学び、それぞれの魚に対応した「仕掛け」「釣り方」を追求して釣果を伸ばしていった過程と同様である。言わば理学療法の挑戦・領域拡大の時期であった。

1987年に日本理学療法士協会（以下PT協会）から機関紙「理学療法学」の編集委員に推挙された。県士会の学術部を担当しながら、PT協会の学術誌部で編集委員を務めた。理学療法士が論文を書くことが、まだまだ不得意な会員が多く、1つの論文が完成し、掲載されるまでには、「指導的」論文査読を数回やり取りすることが普通であった。多くの時間を費やし、東京（編集委員会）からの帰宅が夜間11時過ぎになることもしばしばであった。大学教員（北里大学医療衛生学部、神奈川県立保健福祉大学、湘南医

## 巻頭言



療大学)としての職務と同時並行であり、自身の論文の書き方にも大いに役立つ経験でもあった。さらにPT協会では、専門領域研究部会長、認定理学療法士・専門理学療法士制度の設計、協会監事、と様々な仕事をさせていただいた。釣りであれば、同じ魚を釣るのにも、市販の仕掛けではなく、自分で苦心して仕掛けを製作し、満足できる釣果に如何に結びつけるかの勝負であった。

現在、5,900人を超えた県士会員、14万人を超えたPT協会会員、特に医学の中では多分野における必須の専門職である。さらに福祉分野や疾病予防は、健康へつながる分野へと職域拡大を実現しつつある。一方、厚生労働省および文

部科学省では、理学療法士・作業療法士の適正数に関する議論がなされている。近い将来、需要と供給のバランスが逆転し、供給オーバーになると試算されている。退職した理学療法士にとって、唯一の心配事でもある。それぞれの理学療法士諸氏にとって、今後いかに「国民の生活を支える理学療法士」として生き残っていけるかは、個々人の知識及び技術のたゆまない努力が必須である。さらに「人間」としての成熟を目指し、個性を発揮して専門性を深め、「あの理学療法士から治療を受けたい」と言われたいものである。私にとって趣味の一つである『釣り』は、理学療法士人生を豊かなものとし、今後も『大物狙いの釣り師』を目指していきたい。



## 会長報告



# 我々の組織代表は国政に必要不可欠です

会長 内田 賢一

会員の皆さま、こんにちは。

理学療法士の世界から組織代表として田中まさし氏を国政に送り出し、令和5年1月18日に繰り上げ当選してから1年が経ちました。

この間、大きな成果としては、令和5年6月に閣議決定された“骨太の方針”に「リハビリテーション、栄養管理及び口腔管理の連携・推進を図る」と記載されたことです。これにより、今後リハビリテーションの拡充が図られることとなります。また、令和5年12月のトリプル改定の審議においては、医療・介護の両方ともプラス分の0.61%が賃上げ財源として確保されることが決定しました。これは、リハビリテーション専門職の処遇がベースアップで2.5%相当改善されることとなります。実は、これに先立ち令和5年4月13日と5月15日にリハビリテーションに関する小委員会\*1、5月8日にリハビリテーションを考える議員連盟\*2が開催されました。その後、それぞれの会議における決議事項を財務大臣と厚生労働大臣に申し入れが行われました。さらに、自民党政務調査会全体会議において、リハビリテーションの重要性を組織代表である田中まさし氏をはじめ、多くの仲間の議員にご発言いただいたことが、今回の決定に至った大きな要因です。組織代表が国政の場にいないと、このような結果にはなりません。今や我々の組織代表は、国

政に必要不可欠な存在になっています。

令和4年10月号の本会ニュースにおいて、本会は組織代表を全面的に応援する旨を皆さまにお伝えさせていただきましたが、その後の国政の動きを見ていただければ、本会が応援する理由を十分に理解していただけたかと思います。我々理学療法士の職域と生活を確保するためには、会員の皆さま一人一人が我々の組織代表を応援していただくことが非常に重要です。今後も引き続き、リハビリテーション専門職と国民にとってより良い社会にするため、“我々の声”が国政の場に届くよう、組織代表の活動を応援していただきますよう心よりお願い申し上げます。

- ※ 1. リハビリテーションを考える議員連盟：リハ専門職に関する施策充実・資質向上・処遇改善等を強力に推進することに賛同していただいた自民党国会議員の集まり。現在177名と、非常に多くの国会議員にご入会いただいている。
- ※ 2. リハビリテーションに関する小委員会：自民党が採用する政策・法案を決定する自民党政務調査会内に設置されている委員会。この重要な組織の中にリハ関連の組織ができた事は、リハ専門職の将来にとって非常に明るい材料である。





## 第12回 災害対策研修会 (共同開催：第1回PTOTST合同災害対策研修会) レポート

事務局 災害対策部

2024年1月20日に第12回災害対策研修会(第1回PTOTST合同災害対策研修会)を、対面形式では4年ぶりに開催いたしました。今回は、神奈川県3士会の災害対策部門が一堂に会し、「神奈川県における災害時の福祉支援体制からリハビリテーション専門職として行う支援について検討すること」をテーマに開催されました。

3士会から多くの方にご参加いただきました。本会 内田賢一会長、OT士会 神保武則会長にもご参加いただき盛会に終了することができました。

本研修会の第1部では、神奈川県福祉子どもみらい局 福祉部 地域福祉課 地域福祉グループの岩下記久氏による「神奈川県における災害時の福祉支援体制について」講義が行われました。災害福祉に関する概要について説明いただき、2024年能登半島地震における災害派遣福祉チーム(DWAT)の取り組みについて、具体的な活動状況とともに現状の課題も共有することができました。1.5次避難所での活動や七尾市・志賀町での保健師との連携なども報告いただきました。神奈川DWATは令和3年度に設置され、多職種で協力しながら運営しています。能登半島地震対応として2024年1月21日現在、派遣準備(待機)状態であり、本会から登録しているDWATメンバーも派遣要請に応えるべく準備を着々と進めています。

第2部では、リハビリテーション専門職が災害時の福祉支援においてどのような貢献ができるか、神奈川県理学療法士会 事務局 災害対策部 下田栄次氏、神奈川県作業療法士会 制度対策部 災害対策事業班 西則彦氏、神奈川県言語聴覚士会 災害リハビリテーション対策室 船橋庄司氏より、それぞれの災害支援に関する事業の説明を行いま

した。特に、地域全体における協力体制の構築と、被災地域への適時適切な支援について、積極的な討議もなされました。災害発生時におけるリハビリテーション専門職の役割として、避難所でのリハビリテーションニーズの把握、避難所の環境評価と調整、補装具や福祉用具の選定・調整・指導、生活不活発病予防のための運動指導、他職種との連携、不足したセラピストの一時的な穴埋めなどが挙げられました。

参加者からも、地域でどのようにして関係機関と連携を取るべきか、どのようにして地域の資源を生かすべきか、積極的な意見交換が行われました。

本研修会では、災害時におけるリハビリテーション専門職の役割や連携の重要性について共有し、実際の取り組みや課題についても3士会で共有することができました。神奈川県における災害支援ネットワークとしても大きな一歩を踏み出せた大変意義のある研修会となりました。

今後も、この合同研修会を継続しつつ、より効果的な災害時のリハビリテーション支援体制を構築していきたいと考えております。



## 活動報告



# 研修会報告レポート 県西ブロック災害対策キャラバン

県西ブロック 災害対策エリアコーディネーター 矢部 則明

2024年2月25日（日）国際医療福祉大学小田原キャンパスにて、県西ブロック災害対策キャラバンが開催されました。当日は連休最終日の開催にも関わらず雨天の肌寒い中、35名の方にお越しいただき、職種も理学療法士だけでなく作業療法士、言語聴覚士、保健師、地域活動を行っている自治体の方など、地域関連多職種の方にも参加いただきました。

この研修会では、地域の安全と福祉に向けた取り組みが焦点となりました。特に、小田原市の防災体制や行政の支援体制について学ぶことができました。そのなかで、災害時における保健師の役割や避難所・福祉避難所の運営に関する講義も行われ、地域社会での連携強化の重要性が改めて浮かび上がりました。

小田原市として、どのような形で災害に備えていて、発災時には、どのような方法で地域を支援していくのか、といった具体的な内容について解説いただきました。また、保健師の役割や仮設救護所の運営に関する講義では、医療や福祉の現場での実践的な情報も得られました。これらの講義を通じて、各地域における有事の際の安全確保に向けた準備と連携が重要であることも再確認することができました。リハビリテーション専門職の視点からみた災害対策について、新たな知見も得ることができました。講義後の質疑応答では、関連な意見交換が行われ、病院や施設間、事業所間、地域包括が担当している圏域間での連携が要配慮

者支援に与える影響に関する議論は、非常に示唆に富んでいました。

この研修会を通じて、地域コミュニティの安全と保健医療福祉に必要な知識や連携の重要性を再確認することが出来ました。災害時の支援体制や防災・減災対策は、地域社会全体での協力と連携が不可欠です。

今後も、理学療法士としての視点から地域の安全と保健医療福祉に貢献していきたいと思えます。この研修会で得た知識や情報を活かし、地域の災害対策に積極的に参加していきます。

今回、講師を引き受けていただきました小田原市の防災対策課の熊坂陽子様、健康づくり課の小川泉様、福祉政策課の塚田崇様、災害対策部の下田理事、また会場の手配・調整を引き受けて下さいました右田理事、事前の準備から当日の運営を手伝っていただいた前田県西ブロック長はじめスタッフの皆さまに心より感謝申し上げます。





## 研修会報告「立場を変えるとどう見える!？」 ～他の人の立場になってかんがえてみよう～

ライフサポート部 井下 真由

ライフサポート部  
活動報告  
職場環境を考える

第82報

職場は一日の大半を過ごす場所であり、職場の人間関係が悪いと大きなストレスを抱えることとなります。働き続けるためには、職場の仲間とのコミュニケーションは不可欠です。今回の研修は「コミュニケーションスキルを学び、相手の立場になって考える事が出来るようになる」を目的として開催されました。講師は、医療職のメンタルケアに従事してきた駿河大学心理学部准教授・公認心理士の中村有先生をお招きしました。

内容は、参加者の事前質問の内容を取り入れながら、心理学の基礎・心理学が考える対人コミュニケーション・非言語コミュニケーション・ラポールについての講義を受け、その後グループワークを実施しました。

### \*\*\*\*\*参加しての感想\*\*\*\*\*

コミュニケーションスキルというと、どのような声掛けをするか、どんな話し方をするかなど話す内容の事を想像していました。しかし、言葉だけではなく視線・姿勢・身振り・表情、距離感や空間の使い方からも情報は発信されており、これらの非言語コミュニケーションを意識する事が重要であると学びました。グループワークでは「実は〇〇です」自己紹介、「オンリーワンよりナンバーワン」自己紹介、「共通点を探せゲーム」を行い、とても面白かったです。私はナンバーワンになれることがなかなか思いつきませんでした。グループの方と交流するうちに、様々な考えが浮かんでくるようになりました。

これからも、理学療法知識だけでなく、コミュニケーションスキルも学んでいきたいです。

ほんの一部ですが、内容をご紹介します。

### ■グループワーク

「オンリーワンよりナンバーワン」自己紹介  
参加者全員が何かしらのナンバーワンになれることを探します♪

例) ・ママチャリ漕ぐ距離ナンバーワン!

・毎日の歩行距離ナンバーワン!

・ラーメン食べる早さナンバーワン! など

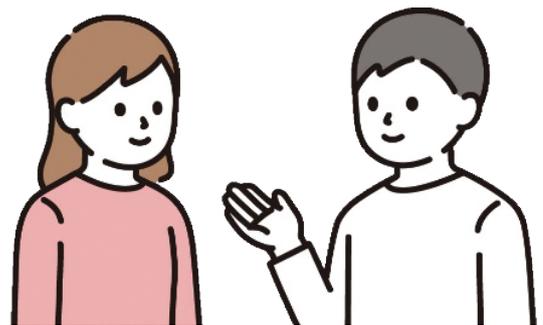
### ■上司が必要とするスキル

#### 部下との距離を縮める

- ・こちらから先に声をかける
- ・時間に余裕があるフリをする
- ・感謝の言葉を使う
- ・笑顔を見せる
- ・怒りは口に出さない
- ・部下に謝る
- ・気軽に誉める

#### 自律した部下を育てる

- ・問題点を絞るために質問をする
- ・長所に気づかせる質問をする
- ・手がかりになる質問をする
- ・感情に訴える質問をする
- ・我々メッセージを使う
- ・答えを待つ
- ・努力と変化を誉める



## 活動報告



### ライフサポート部の X (旧 Twitter) のフォローお願いします！！

ライフサポート部の活動は、県士会活動の情報にアクセスしていない離職中の方にも参加してもらいたいと思い企画しています。そこで「X (旧 Twitter)」を利用して、週 2 回この活動にまつわる内容を発信して、つながることを目指しています。フォロワーが増えれば、目に留まる可能性も高まります。フォロワーになってもらえませんか。よろしくお願いします！

X アカウント→→→



## 「生涯学習制度」履修状況確認のお願いについて

生涯学習部

2022 年度よりリニューアルされた生涯学習制度が始まり、「新・生涯学習制度」と謳われておりましたが、PT 協会の HP を確認すると、いつの間にか「新」がなくなっていました。この生涯学習制度が実施するべく当然の制度として、県士会の皆様にも浸透してもらえるように、県士会の新人教育部として、継続的に情報を掲載していきます。

さて、新年度が始まりました🌸新入職員は、多くの不安と期待を抱いて入職されていますので、皆様のサポートが重要になります。理学療法の質を向上していくためにも生涯学習制度を進めてください。

2022 年度以降に入会の方は、前期研修がスタートとなり、早い方では、2024 年の 4 月には後期研修に進まれたのではないのでしょうか。2020～2021 年度に入会した方は、昨年度より後期研修が開始され、履修が進んでいることと思われます。この生涯学習制度は e ラーニングを履修するためには、33 時間 (前期研修) から 76.5 時間 (後期研修) もかかります。また、会員の自助努力だけでなく、所属施設の責任者 (登録理学療法士以上の方) が率先して進めなければならない領域があります。つきまして、各施設の教育担当の方は、2020 年以降に入職した職員の方へ研修状況の確認を定期的をお願いいたします。

## 士会主催症例検討会について

### 1. 開催日程のお知らせ

2024 年度も全 3 回の士会主催症例検討会を開催します。この症例検討会は、生涯学習制度の前期研修 D-2、後期研修 E (事例) に該当するものです。下記のスケジュールにて開催を予定しています。2023 年度と日程が異なっておりますので、ご確認のほどよろしくお願いします。

開催時間は、10 時～11 時 50 分になります。1 症例 30 分間を 3 症例行います。30 分間の時間構成は、症例発表 10 分、ブレイクアウトルームを用いた聴講者によるディスカッション 10 分、全体の質疑応答 10 分となっています。

開催形態は、全て Zoom を用いたオンラインにて行います。

## 活動報告



### 開催予定日

- 第1回目症例検討会（神経系 E-1）：6月16日（日）
- 第2回目症例検討会（内部障害系 E-3）：9月8日（日）
- 第3回目症例検討会（運動器障害系 E-2）：12月1日（日）

## 2. 演題募集について

演題募集は、随時行います。皆さんの応募をお待ちしています。神奈川県理学療法士会会員の方のみ受け付けております。各症例検討の演題募集の締め切りは、下記の通りとなっています。日程をご確認いただいたうえ、申し込みください。

演題申し込み方法は、メールにて受付をします（申し込み先：syoreikentou@pt-kanagawa.or.jp）。下記締め切りまでに申し込みをしてくだ

さい。

期日前でも3名の発表者が決定しましたら、受付を終了させていただきます。過去に学会等で発表した内容でも構いませんが、過去にE-1～3のコマを付与された演題は、発表ができません。

抄録の作成は不要ですので、お気軽に応募してください。詳細は、県士会 HP の生涯学習制度のページをご覧ください。

### 演題締め切り日（開催2か月前）

- 第1回目症例検討会（神経系 E-1）：4月16日（火）
- 第2回目症例検討会（内部障害系 E-3）：7月8日（月）
- 第3回目症例検討会（運動器障害系 E-2）：10月1日（火）



生涯学習制度のページ



## 有限会社 木村義肢工作研究所

みなさまのご要望に真摯に向き合い

生活を手助けするものづくりを提供して参ります

〒247-0006 横浜市東区笠間三丁目40番5号  
TEL045-892-5424 FAX045-894-2560 [www.kimura-gish.co.jp](http://www.kimura-gish.co.jp)



## 重要なお知らせ



### 令和6年度 新入オリエンテーション 開催のお知らせ

総務部 小磯さおり

来る令和6年5月12日（日）、令和6年度の新人オリエンテーションを開催いたします。  
実に4年ぶりの対面開催です。

会場は神奈川公会堂 講堂（〒221-0821 神奈川県横浜市神奈川区富家町1-3）です。

会員の皆さまにおかれましては、ご所属先に入職された新人理学療法士の方々へ開催のご案内を頂けますよう、よろしく願いいたします。

県士会の組織や活動状況の他、新生涯学習システムの概要や入会方法についてのお話を予定しております。詳細は神奈川県理学療法士会ホームページよりご確認頂けます。

ご協力よろしく願いいたします。

## 総会告示

### 公益社団法人 神奈川県理学療法士会 第45回定時総会

日時：2024年6月23日（日）10時30分～12時00分

会場：対面形式で調整中

（決定次第、開催通知・ホームページ等でお知らせします）

今回は総会資料・委任状の電子化に向け定款改定を協議する総会となります。

資料・委任状を電子化することで200万円程度予算削減できる予測です。

定款改定のためには、会員2/3（4,000通）以上の委任状が必要となります。

総会に出席できない場合は、必ず委任状が議決権行使書を提出して下さい。



# Gift

オリジナルカーシート  
（150センチ程度まで）

日本ウイール・チェア株式会社  
〒188-0014 東京都西東京市芝久保町2-22-31  
TEL 042-463-1511 FAX 042-463-3730

そのほか当社では  
福祉用具レンタル・販売  
も取り扱っています



NIHON WHEELCHAIRS

<http://nwc-kurumaisu.com/>



## 第37回和歌山県理学療法学会大会開催のお知らせ

テーマ：知識と実践の調和

内容：演題発表、特別講演

9：00～12：00 一般演題発表

13：00～14：00 特別講演1

14：10～15：10 特別講演2

※1：演題発表数に応じてプログラム時間を変更する可能性があります。

ポイントについて：①登録理学療法士更新

②認定・専門理学療法士取得

③認定・専門理学療法士更新

①～③いずれか一つ

ポイント：学会参加：カリキュラムコード50：基本的な理学療法治療技術（4.5ポイント/点）

特別講演1：カリキュラムコード57：機能と構造、身体機能の低下（1.0ポイント/点）

特別講演2：カリキュラムコード96：疼痛に対する理学療法（1.0ポイント/点）

ホームページ：<https://sites.google.com/tumh.ac.jp/conference?usp=sharing>

開催日時：2024年7月21日（日）9時00分～（受付開始8時30分～）

会場：対面会場：宝塚医療大学和歌山保健医療学部（5階 大講義室）〒640-8392 和歌山県和歌山市中之島2252

受講料：県外会員：1,000円

講師：特別講演講師

特別講演1：森山 英樹（神戸大学）

テーマ：～基礎研究での知識と臨床実践への活用と展望～

特別講演2：今井 亮太（大阪河崎リハビリテーション大学）

テーマ：～運動器疼痛研究の知と臨床実践の活用～

定員：500人

お問い合わせ：在宅総合ケアセンター 赤ひげクリニック 学術部員 石本 泰星  
TEL 0736-66-9003  
E-mail: wptagakkai@gmail.com



MAKERS OF PERFORMANCE PROSTHESIS & ORTHOSIS

**SP-i 湘南義肢研究所**

整形靴から義足、車いすまで



神奈川で半世紀  
これからも気分の上がる装具をお届けします！

最新情報はFacebookで

横須賀市小川町27 TEL 046-822-6722 <https://www.sp-i.net>





## 【触診が苦手な方限定】第31期 6日で学ぶ評価・アプローチのための触診セミナー BASICコース 信頼される療法士の土台を作る

テーマ：触診を通して効率的な評価・アプローチの方法を身につける。

内容：一ヶ月目

- ・触診の基礎とコツ
- ・体幹の関節・筋の触診
- ・体幹の関節・筋のアプローチ方法

二ヶ月目

- ・上下肢の関節・筋の触診1
- ・上下肢の関節・筋のアプローチ方法1

三ヶ月目

- ・上下肢の関節・筋の触診2
- ・上下肢の関節・筋のアプローチ方法2

など

ホームページ：\*詳しくはHPよりを御覧ください。  
<https://lts-seminar.jp/syokushinbasic/>

開催日時：第31期 2024年 7月6,7日

8月3,4日 9月7,8日(土日)

9時30分～16時30分(休憩あり)

会場：ウィリング横浜 ゆめおおおかオフィスタワー  
〒233-0002

横浜市港南区上大岡西1-6-1

ゆめおおおかオフィスタワー内

受講料：66,000円(税込)

講師：大塚 久 登録理学療法士

2015年5月療法士活性化委員会を立ち上げ。延べ1,200名の療法士が同委員会のセミナーに参加している。

定員：24名限定

注意事項：お申し込みはHPよりお願いいたします。  
<https://lts-seminar.jp/syokushinbasic/>

お問い合わせ：療法士活性化委員会事務局：  
[lts-info@lts-seminar.jp](mailto:lts-info@lts-seminar.jp)

 神奈川県理学療法士会

神奈川県理学療法士会の  
公式アカウントがあります。

研修会やイベント、県士会からの  
重要な情報を LINE でお届けします！

@720prcny

LINEの「友だち追加」から、ID検索するか  
QRコードをスキャンしてください



友だち数 874

## 会長行動報告(12月～2月)



月	日	内容	場所
12月	6日(水)	PT協会組織運営検討会議	Web
	7日(木)	第9回常任理事会	Web
	9日(土)	日本理学療法士連盟研修会	TKP赤坂カンファレンスセンター
	12日(火)	神奈川県民医療推進会議	県総合医療会館
	13日(水)	共同研究検討会議	事務所
	21日(木)	鎌倉市議会後藤吾郎議員と意見交換会	事務所
	23日(土)	神奈川県医療専門職連合会県民公開講座	情文センター
	24日(日)	指定管理者初級研修講師	事務所
	25日(月)	神奈川県医療専門職連合会監査	事務所
1月	28日(木)	第5回事業運営会議	事務所
	4日(木)	第10回常任理事会	Web
	10日(水)	県臨床検査技師会賀詞交歓会	横浜ホテルプラム
	20日(土)	三士会合同災害対策研修会	横浜水道会館
	24日(水)	神奈川県医療専門職連合会理事会	事務所
2月	25日(木)	第6回事業運営会議	Web
	1日(木)	第11回常任理事会	Web
	4日(日)	第40回神奈川県理学療法士学会 神奈川県理学療法士連盟会長と連盟運営検討会議	パシフィコ横浜 パシフィコ横浜
	9日(金)	顧問弁護士と検討会議	小田原
	16日(金)	神奈川県理学療法士連盟会長と連盟運営検討会議	事務所
	17日(土)	事業意見交換会	Web
		令和5年度第2回関プロ士会長会議	ホテルライトキューブ宇都宮
		関プロ協議会懇親会	山泉楼
	22日(木)	神奈川県産業保健総合支援センター説明会	Web
		第6回理事会	Web
	25日(日)	JRAT報告会	Web

## information



### アクセス認証のパスワード

本会ホームページの会員ページの(※**アクセス**)**認証あり**と表示のあるサイトの閲覧時にはユーザー名とパスワードが必要です

パスワードは1年毎に変更になります  
ご不明点は、本会ホームページTOPページ右上の「お問い合わせ」からお寄せ下さい

ユーザー名とパスワードは同一  
**kpt2024**です

担当：ウェブサイト管理係



## 日本理学療法士協会会員証・協会マイページログインについて

会員の皆様方のお手元には「日本理学療法士協会会員証」が届いていると思います。



今後、神奈川県理学療法士会や日本理学療法士協会の主催事業の参加受付の際に必要なになります。携帯する様にお願いします。

紛失・破損等による再発行は、**有料（500円税別）**となりますので、ご注意ください。

神奈川県理学療法士会や日本理学療法士協会の主催事業の申込をする際には、日本理学療法士協会ホームページの「マイページ」からの申込になります。「マイページ」にログインするには、ID・パスワードが必須となります。

- \* 「ID・パスワード再発行」はログインページの「ログインできない方はこちら」をクリックし、再発行申請手続きを行ってください。
- \* 会員証・ID・パスワードの再発行の申請について詳しくは、日本理学療法士協会のホームページをご覧ください。ご不明な点は、日本理学療法士協会へお問合せをお願いいたします。

(公社) 神奈川県理学療法士会  
事務局

## 年会費（納入方法）

年会費の納入方法は「クレジットカード決済」または「口座振替」となります。

クレジットカード決済にご利用可能なブランドは次のとおりです。(決済手数料負担なし)

VISA / mastercard / JCB / AMERICAN EXPRESS / Diners Club

- \* 日本理学療法士協会マイページから随時変更可能です。
- \* 口座振替ご希望の方はお持ちの金融機関口座から引落出来ます。ご登録いただいてから引落決済が利用できるまでに1か月程度かかる場合があります。
- \* いずれかの方法で決済ができない場合は、振込用紙を送付させていただきます。(納入手数料がかかります)

(公社) 神奈川県理学療法士会  
事務局

・ニュース編集係員・

担当理事：西田 友紀子  
 (川崎幸病院)  
 係 長：武田 正一  
 (横浜リハビリテーション専門学校)  
 委 員：上垣 亮太  
 (横浜リハビリテーション専門学校)  
 須藤 ゆかり  
 (横浜リハビリテーション専門学校)

次号の原稿締め切りは**2024年6月1日**です。

岩崎学園 横浜リハビリテーション専門学校  
 理学療法学科 (ニュース編集係宛)

news-hensyu@pt-kanagawa.or.jp

〈原稿は添付ファイルでお願いいたします〉

※原稿受取確認を希望する場合は開封確認機能をご利用ください。  
 円滑な編集作業へのご理解とご協力よろしくをお願いいたします。

**編 集 後 記**

いよいよ、新年度がスタートします。2024年2月18日には第59回理学療法士国家試験が執り行われました。昨年の受験者数は12,948人でしたから、今年も12,000人を超える受験者数となったでしょう。2024年度は有資格者数も全国で22万人は超えると思われます。(日本理学療法士協会調べ)。さて今回の巻頭言では、長年、神奈川県理学療法士会にご尽力いただいた長澤先生にご執筆頂きました。ご自身の仕事と趣味を重ね合わせ、とても趣深いメッセージでした。後半では増え続ける理学療法士、今後、生き残っていく上では、絶え間ない努力と国民の生活を支える理学療法士でなくてはならないとエールを頂きました。

また、内田会長からは組織代表が国政の場にいる事の重要性と我々の声が国政に届くように組織代表の応援が欠かせないことをご執筆頂きました。

ニュースも4月号からWebに移行しました。今後は各部会からの報告、研修会・講習会の報告に加えて、もっとフレキシブルに県民へ届くような内容やコンテンツを増やしていきたいと考えています。急な変化は難しいかもしれませんが皆様のご協力を頂いて、Webニュースを育てていけたらと思います。今後もKPAニュースをよろしくをお願いいたします。

(KPAニュース編集係 武田正一)

有限会社 **足柄リハビリテーションサービス** Ashigara Rehabilitation Service

地域でつながる、明日へつなげる...  
 あなたの手もつなぎませんか

通所介護      訪問看護

スタッフ募集中\*施設見学受付中

県西エリアの  
 住民生活を  
 支えます

放課後等  
 デイサービス

ソーシャルワーク  
 拠点

小規模多機能

小田原 L エール  
 女性活躍推進優良企業  
 ゴールドステージ認定

ARS訪問看護リハビリステーション

小田原市 堀之内 218-3

地域リハビリテーションセンター **ふらっと**  
 小田原市 堀之内 253-1

地域リハビリテーションセンター **Well**  
 小田原市 久野 469

地域リハビリテーションセンター **ふらっと湯河原**  
 足柄下郡 湯河原町 土肥 1-13-3

しあわせサービス  
 足柄上郡 松田町 松田惣領 1249

総合案内 本社 TEL:0465-39-3730 FAX:0465-37-5740

〒250-0853 小田原市 堀之内 218-3

お気軽に  
 お問い合わせください!  
 ARSホームページ  
<https://ashigara-reha.jp/>

株式会社エヌ・エフ・エーは  
 保険を通じて暮らしやビジネスを  
 サポートします



**NFA**  
 株式会社 エヌ・エフ・エー  
 保険のトータルプランナー

〒110-0015  
 東京都台東区東上野1丁目6-2 荒井ビル2階  
 TEL.03-5818-0711 (代表) FAX.03-5818-0710  
<https://www.nfa-ins.co.jp>